

ABIO
アビオ

脱着式水質調整型ろ過器 LAS-03GH 取扱説明書

この説明書をご使用前に必ずお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところへ必ず保管してください。製品仕様は予告なく変更する場合がございます。

安全にお使い頂くために

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、ご使用前に必ずお読みのうえ、正しくお使いください。



水道水質基準に適合した水のみにお使いください。
強制 健康障害を生じる恐れがあります。



新しいろ過器(カートリッジ)をお使いいただくときは、気泡及び濁りが消えるまで約3分放流してください。
毎日の使い始めには30秒以上放流してください。
2日以上使用しなかった時は、2分以上放流してください。
断水後は赤水が出ることがありますので、ろ過器を設置した給水栓以外の給水栓から放流してください。
凍結する恐れのある場所に設置しないでください。
※本製品は寒冷地仕様ではありません。
水漏れ等がないか接続部やろ過器を1ヶ月に1度点検してください。
ろ過器を長期間ご使用にならないときは止水栓を閉じてください。
汲み置きをしないでください。ろ過器は塩素を除去するため殺菌作用がなくなっています。
5°C以下の冷水および、35°C以上の温水をろ過器へ通さないでください。
元水圧が0.78MPaを超える場所に設置しないでください。
ご使用する場合は、ろ過器より元の配管に減圧弁を取付けてご使用ください。
高熱を発する器具を近づけないでください。
また、高熱を発する機器の近くに設置しないでください。
強い衝撃を与えないでください。
清掃の際に、洗剤やシンナー・ベンジンなどの有機溶剤は絶対に使わないでください。
お客様ご自身による分解・修理は絶対に行わないでください。
専用カートリッジ以外は取付けないでください。
養魚用にはご使用にならないでください。

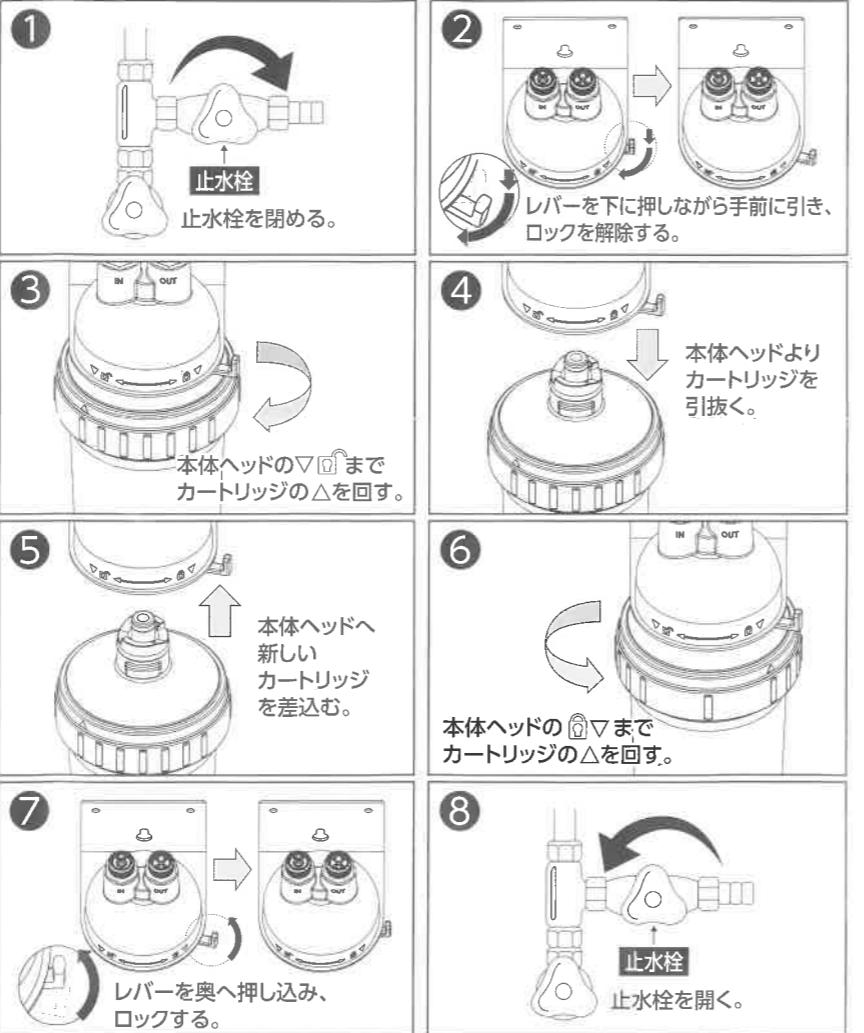
カートリッジ交換時期について

カートリッジは消耗品です。使用期間12ヶ月または使用採水量10,000L毎に必ず交換してください。(原水の水質によって交換時期は大きく変わります。)

通水量が極端に減少したり、スケールが付着する場合にはカートリッジを交換してください。
※交換を行わず、使い続けると以下のような事が起きます。ろ過機能の低下によるスケールの付着。それによる機器の破損。ろ過部の目詰まりによる本体の破損および漏水。

カートリッジ交換方法

カートリッジの交換は必ず下記の手順に従って行ってください。
手順、接続を間違えると、水漏れや故障の原因になります。交換時はろ過器や配管の滞留水が床にこぼれないようにバケツ等の中で作業してください。



本体ヘッド・カートリッジの廃棄について

本体ヘッド・カートリッジは、お客様の所有物です。地方自治体の条例に基づき廃棄をしてください。

困ったときは

症 状	原 因	処 置
止水栓が閉じている。	止水栓を全開にしてください。	
IN・OUTの接続が逆になっている。	正しく接続してください。 ※施工説明を参照してください。	
カートリッジが正しく接続されていない。	上記『カートリッジ交換方法』を参照し、接続しなおしてください。	
カートリッジを交換したら水が出ない。	カートリッジが正しく接続されていない。	上記『カートリッジ交換方法』を参照し、接続しなおしてください。

(水圧0.1MPa 水温20°C 全硬度50mg/L条件下)

施工説明

お客様へ

本製品の設置は施工業者へご依頼ください。
お客様ご自身での設置は行わないでください。

施工業者様へ

施工前に必ずお読みの上、正しく設置してください。

注意

- 取付け工事は水道法、建築基準法、その他の法令及び地方自治体の法令、規則など各種法令に則って行ってください。
強制
- 設置前に必ず元水圧を測定してください。
強制
- 常用使用圧力範囲内で設置してください。
強制
- 元水圧が0.78MPaを超える時は必ず減圧弁を取付けてから設置してください。
強制
- ※元水圧が0.78MPaを超える場所への設置は本製品の破損や水漏れの原因となります。
※ウォーターハンマー等の発生が考えられるため、元水圧が0.35MPaを越える時は減圧弁の取付けを推奨しています。
- 運転時は2.5Kgの重量になります。
強制 壁などに取付ける場合は十分に耐えられる事を確認してください。
- 本製品の給水側(IN側)には必ず止水栓を取付けてください。
- 床面が防水処理されていない所には設置しないでください。
禁止

LAS-03GHセット内容



本体ヘッド 1ヶ
カートリッジ 1ヶ
ホルダー 1ヶ
本体取付用ビス 3ヶ
取扱説明書 1ヶ

※全ての部品がそろっているかを必ずご確認ください。

施工業者様でご用意して頂く部品

- フレキ配管 2ヶ
- 止水栓 1ヶ
- 給水栓 1ヶ
- 片ナット付チーズ 1ヶ

水道工事、給水接続・給水栓の施工に必要な部材や部品は施工業者様でご用意ください。
※フレキ配管は、必ず日本水道協会型式登録品をご使用ください。

施工者のチェック

設置日 年 月 日

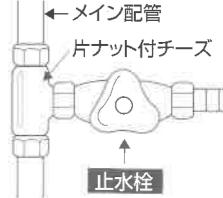
① 元水圧が0.78MPa以下になっていますか?
② 同梱部品以外のものは使われていませんか?
③ 水漏れはありませんか?



施工手順

1.止水栓の取付け

メイン配管より片ナット付チーズで分岐し、止水栓を取付けてください。



止水栓の位置やフレキ管の長さはメンテナンスの容易さを考慮してください。

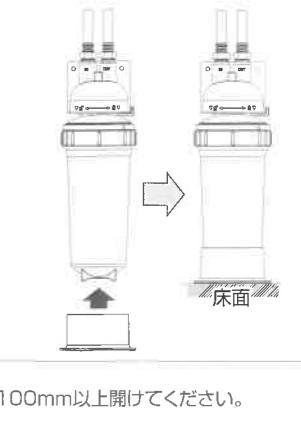
止水栓は本製品の設置や、機器のメンテナンスに必要です。必ず設置してください。

2.本体取付け

給水機器への接続距離やメンテナンス性を考慮し、図のように設置してください。

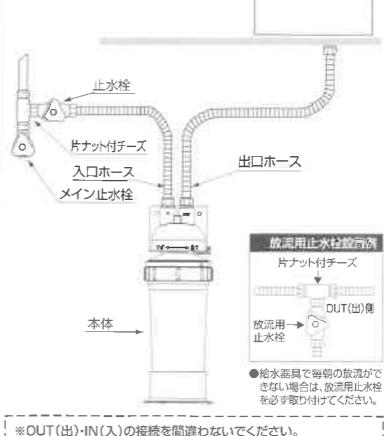
●ろ過性能保持のため、必ず立てた状態で設置してください。

ビスで固定できない場合は、付属のホルダーをカートリッジに差込み、平面に縦置きしてください。



3.給水接続方法

給水接続全体図



- OUT(出)側ノズルと、熱機器またはその他の給水器具をフレキ配管で接続してください。
- 止水栓と、IN(入)側ノズルをフレキ配管で接続してください。

- OUT(出)側ノズルと、熱機器またはその他の給水器具をフレキ配管で接続してください。
- 止水栓と、IN(入)側ノズルをフレキ配管で接続してください。

- 設置後、長期間ご使用にならないときは、取扱説明書にもとづいて止水栓を閉じてください。
- 取扱説明書にもとづいてお客様に次のことを説明してください。
 - 本体と給水器具は、対してください。
 - 本体から給水器具までの配管は1m以内になるようにしてください。
 - 本体から給水器具は、止水栓等で構成しないでください。
 - 本体を水栓以外の給水器具に取り付けるときは、目的的に毎朝放流するような機器の設置をお勧めします。

4.通水と水漏れチェック

- 放流用止水栓を「全開」にし、止水栓をゆっくりと全開してください。



- この状態のまま、水が澄んでなるまで、約3分間放流してください。



- 放流終了後、放流用止水栓を「閉」にし、本体及び配管各部より水漏れがないかを確認してください。



- 万が一、水漏れが生じた場合には、止水栓を閉じ、販売店またはクリタック(株)へお問い合わせください。



発売元
KURITA
クリタック株式会社
本社/〒164-0012 東京都中野区本町2-46-1
TEL:03-5308-1302 FAX:03-3379-5357
4662061909